

19  
2019年度 下期

2020年5月19日

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	特定非営利活動法人 Synapse40	
代表者名	だいひょうりじ ちば しげみ 代表理事 千葉 繁美	
連絡先	TEL : 08018113744 FAX : 0229-47-4294	E-mail synapsemail40@gmail.com

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	食(SYOKU)×農(NO)をつなぐ居場所づくり事業
事業の目的	中高生の企画・計画・運営によって献立・調理して食を提供する世代を超えた人たちと共に会食・歓談をとおして交流の場とする One コインカフェ「Caffè neppape」と多世代が参加できる農業体験を加えた「食」×「農」として関連づける「消費」と「生産」を体験できる場交流の場を提供して社会的自立を促します。
事業の具体的内容	<p>【事業の実施計画】</p> <p>●「食(SYOKU)」プロジェクト</p> <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大崎市内の貧困層及び支援を要する小中高生</li></ul> <p>【One コインカフェ参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・誰でも参加</li></ul> <p>【実施場所】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・志誠塾「おおさき寺子屋」</li></ul> <p>【実施方法】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・調理・食育講座(3回開催,調理講座,真山地区公民館)</li><li>・「One コインカフェ」開催(月1回程度)</li></ul> <p>●「農(NO)」プロジェクト</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・公募型(大崎市内の貧困層及び支援を要する中高生も含む「食×農」に関心のある子ども・保護者)</li></ul> <p>【実施場所】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大崎市岩出山真山ふるさと交流農園・真山地区公民館</li></ul>

活動の開始から完了  
までの流れ

●「食(SYOKU)」プロジェクト

【事前準備】

各 One コインカフェ開催の事前にクラウドを使った情報の共有と前日にポップカーンと団体スタッフが集まり食材等の購入・仕込み・会場準備を行った。

【当該事業関連 One コインカフェ開催】

栽培体験で育てた農園産の無農薬・オーガニックな食材を活用したカレーとサラダ・スープのメニューとネーミングを中学生と考案した。

・6月16日(日)・第1回 One コインカフェ  
子ども4名・大人9人・ポップカーン4名・団体スタッフ1名 計18名

△7月20日(土)・第2回 One コインカフェ 食体験(流しソーメン)  
メニュー「そうめん・農園産夏野菜の天ぷら」

子ども4名・大人10人・ポップカーン3名・調理ボランティア1名・団体スタッフ1名 計25名

・9月23日(月)・第3回 One コインカフェ,  
メニュー「Synapse 農園産思い出の夏野菜カレー, ポテトサラダ,  
ズワイガニのスープ, カボチャプリン」

子ども4名・大人10人・ポップカーン3名・デリバリー7名・団体スタッフ1名 計25名

△10月20日(日)・第4回 One コインカフェ

メニュー「Synapse 農園産カボチャのニョッキカレー, ルッコラと二十日大根のサラダ, ピーナッツカボチャの冷製スープ」

子ども10名・大人11人・ポップカーン3名・デリバリー10名・調理ボランティア1名・団体スタッフ1名 計35名

△12月7日(土)・第5回 One コインカフェ 食体験(クリスマス会・SOC 壮行式), 子ども8名・大人4人・調理講師1名・調理ボランティア1名・ポップカーン3名・団体スタッフ1名 計18名

・1月19日(日)・第6回 One コインカフェ

メニュー「油麩のカレーライス, 農園産白菜と大根の和風塩だれサラダ, コーンポタージュスープ」

子ども7名・大人12人・ポップカーン4名・団体スタッフ1名 計24名

●「農(NO)」プロジェクト

多少不揃いで見た目が悪くても無農薬・オーガニックな野菜を栽培し安全で安心かつ素材の持つ美味しさを体感する。

【栽培管理】

・27回の団体スタッフによる管理

・8回の栽培講師による支援

・15回の栽培ボランティアに支援

【イベント開催】

○5月2日(木)・第1回農業体験(じゃがいも(だんしゃく、メイクイーン、ピルカ、ノーザンルービー)の4種、里芋、ミックスレタス、パクチー、ルッコラジャガイモ種植え)

子ども4名・大人1名・栽培講師1名・ボランティア1名・団体スタッフ1名計8名

○5月14日(火)・第2回農業体験(ナス苗等定植)

子ども4名・大人1名・栽培講師1名・団体スタッフ1名計7名

○5月27日(月)・第3回農業体験(大玉スイカ・小玉スイカ・レタス・大玉トマト・ピーマン苗定植・誘引)

子ども4名・大人2人・栽培講師1名・団体スタッフ1名計7名

	<p>△7月20日(土) ・スポットイベント第4回農業体験(夏野菜)・食体験(流しソーメン)・交流会(野外遊び・水鉄砲合戦) 6家族(子ども13名・大人8人)・ポップカーン2名・講師2名・ボランティア4名・団体スタッフ1名計31名</p> <p>○7月28日(日) ・第5回収穫体験(ジャガイモの収穫体験) 子ども4名・大人1名・栽培講師1名・団体スタッフ1名 計7名</p> <p>○8月24日(土) ・第6回農業体験(秋野菜編白菜種まき・夏野菜収穫) スイカ割り 子ども5名・大人2名・栽培講師1名・ボランティア1名・団体スタッフ1名 計10名</p> <p>○8月31日(土) ・第7回農業体験(秋野菜編大根種まき・夏野菜収穫) 子ども5名・大人2名・栽培講師1名・団体スタッフ1名 計9名</p> <p>○10月5日(土) ・第8回農業体験(秋野菜収穫) 子ども5名・大人2名・栽培講師1名・ボランティア1名 計9名</p> <p>○10月19日(土) ・スポットイベント第9回ワークショップ(収穫したカボチャでハロウィンランタンをつくろう) 2家族(子ども5名・大人3名)・ワークショップ講師1名・ボランティア2名・団体スタッフ1名 計12名</p> <p>△11月23日(土) ・スポットイベント第10回ワークショップ(秋の草花でクリスマスリースを作ろう), 食体験(芋煮会) 農業体験(秋野菜収穫) 3家族(子ども8名・大人3名)・調理講師1名・ボランティア1名・団体スタッフ1名 計14名 参加者合計 114名</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>「食」＝「消費」の考えから「食」×「農」を関連づけて体験することにより「消費」と「生産」の関係の中から少しでも働くことへ意欲や金銭感覚を感じ取ってもらった。困窮家庭の子どもにとって「経済的な貧困」と同様に「他者との繋がり」の「貧困」「体験の貧困」は大きなウェイトを占めている。他者から感謝されたことの経験がほとんどない小中高生にとって微かな他者への「お役立ち」を体験できることは、他者が何を求めているかを感じ取り、自らの行動により相手の幸せと自らの微かな幸せを実感できたようだ。また、食育講座(調理体験)を開催することを切り口として、何気ない会話を通して保護者の悩みなどにも寄り添い添走することができた。</p> <p>農業体験では、日照不足や台風の被害により作物のできに大きく影響をしたが、夏野菜はじゃがいもやズッキーニ、ナス、ピーマン、シトウガラシ、人参、ピーナツカボチャ、カボチャ、秋野菜の収穫は大根、白菜、ねぎ、ヤーコン等を参加者は持ち帰り家庭で食材として利用した。子ども達は中学生が考えたゲームやブルーベリー摘みに行っていた。</p> <p>調理体験では、普段家庭でやったことのない子ども達にネギを切る体験をさせ、お母さん達にはそうめんを茹でやてんぷらの下処理や揚げるのを手伝ってもらった。流しそうめん会では、「こんなこと普段体験できないので子ども達も喜んでいて楽しそう」という声が聞かれた。食後は、One コインカフェで手作りアイスコーヒーを飲みながら子育てのことを話し合った。芋煮会でも食材を切るとことを子ども達に任せた。Synapse 農園の野菜がたっぷりの料理で、ヤーコンのサラダやきんぴら、大根の葉の漬物も作り参加者みんな和気あいあいと進んだ。</p>

	<p>ワークショップは「収穫したカボチャでハロウィンランタンをつくろう」「秋の草花でクリスマスリースを作ろう」どちらも自分たちが育てた材料や真山地区公民館周辺に育っている草萐・木ノ実を採取してオリジナルな作品作りに挑戦した。</p> <p>大崎市岩出山真山地区という大崎市内中心部から片道16.5キロという立地条件のためチラシ・ポスターで公募した年間通しの参加者は定員を下回ったものの、スポットイベントでは活動するのに適した参加者数であった。</p>
今後の展望など	<p>真山地区公民館の立地条件をマイナスとして捉えるのではなく、プラスにする魅力のある企画をする。「みそづくり体験」「こんにやくづくり体験」など真山地区住民の生活の中で得た知恵などを交えた体験活動を企画し、地区公民館と交渉したが同意が得られなかった。真山ふるさと交流農園という設立時の理念と合うような企画を考え地域住民との交流の機会を模索したい。</p> <p>コロナ禍により生活に大きな影響を生じた家庭も含めて生活困窮者家庭の参加者を増やすための仕組みを工夫する。</p>

## 2、助成金使途報告書

### ■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	290,000 円	
農イベント参加費	13,000 円	年通し 4,500 円 秋野菜編 2,500 円 スポットイベント 5,000 円
One コイン参加費	23,000 円	大人参加者 46 名×500 円
寄附金		
合計	326,000 円	

### ■ 支出の部

\*助成金充当

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
謝金	講師謝金(栽培・調理講・制作) ボランティア謝金	111,000 円	113,500 円*
旅費	農園維持管理	17,000 円	24,444 円*
印刷製本費	チラシ	14,600 円	13,423 円*
消耗品費	種苗・肥料・資材代 食材・事務用品費	158,700 円	157,933 円 (121,933 円)*
使用料	真山ふるさと農園使用料 管理機使用料	12,000 円	6,200 円*

保険料	ボランティア保険	10,000 円	10,500 円*
手数料	振込手数料	2,700 円	0 円
合計		326,000 円	326,000 円 (290,000 円)*

\*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

### 3、送付必要書類

- ① 福祉活動助成金 助成活動報告書  
プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。
- ② 領収書のコピー（郵送）
- ③ 成果物（活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送）  
\*写真は郵送とメールで送ってください。

## 食(SYOKU) × 農(NO)をつなぐ居場所づくり事業



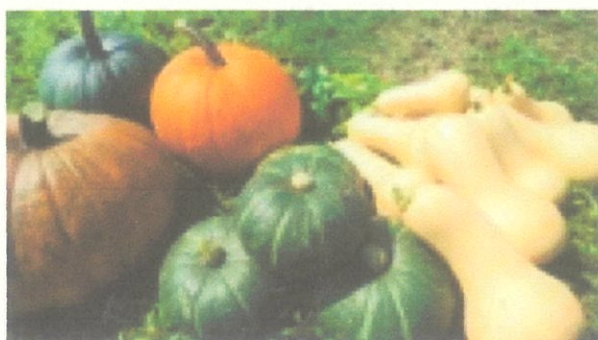
2019.7.20 スポットイベント第4回 ソーメン流し会



2019.7.20 スポットイベント第4回 水鉄砲合戦



2019.8.24 第6回 白菜の種まき



2019.8.31 第7回 大根種まき・収穫



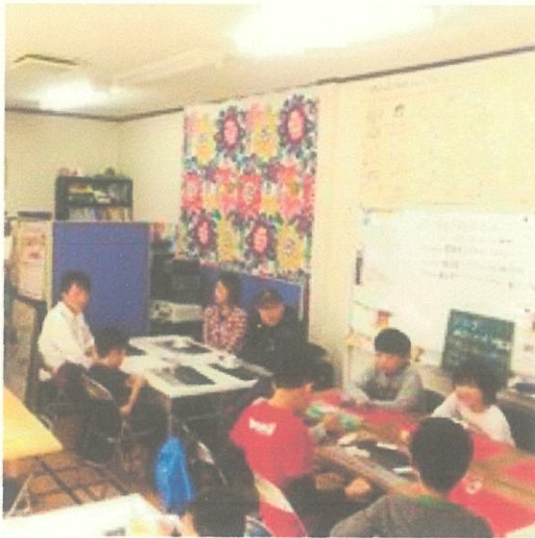
2019.11.23 第10回 秋の草花でクリスマスリースを作ろう



2019.11.23 第10回 農業体験(秋野菜の収穫)



2019.9.23 第3回Oneコインカフェ



2019.9.23 第3回Oneコインカフェ



2019.9.23 第3回Oneコインカフェ  
Synapse農園産カボチャのニョッキカレー  
ルッコラと二十日大根のサラダ  
ピーナツカボチャの冷製スープ



2019.12.7 Oneコインカフェ クリスマス会・社行会





2019.10.19 第9回ワークショップ  
収穫したカボチャでハロウィンランタンをつくろう



# 「食」と「農」つなぐ

## 親子で野菜の収穫体験

岩 出 山



NPPO法人Syna  
P.se.40(シナプスフ  
ォーティ)、千葉繁美  
代表理事)主催の農業  
体験イベント「食(S  
YOKU)×農(NO)  
をつなぐ居場所づく  
り」の収穫体験が20日  
大崎市岩出山の真山ぶ  
るさと交流農園であ  
り、親子が自然の中  
野菜を収穫した。

をつなげるプロシエ  
ト。本年度からスタ  
トし、この日は大崎市  
や美里町から約30人  
参加した。  
緑に囲まれた農園  
で、参加者は、ピーマン  
やナス、レタスなどの  
収穫を体験。自分たち  
が普段食へる野菜がど  
のようになっているのかを  
体感した。

た。赤いシャカイモが  
あることも初めて知っ  
た」と話していた。  
収穫した野菜は持ち  
帰ったほか、天ぷらに  
して昼食に。流しソー  
メンも行い、参加者同

士で世代を超えて交流  
した。  
8月からは「秋野菜  
編」を実施。8月24日  
に種まきを行う。収穫  
したサトイモを使った  
芋煮会、ハロウィーン  
用のカボチャでランタ  
ンを作るイベントも予  
定する。  
申し込み、問い合わせ  
せはシナプスフォーテ  
ィーへ。電話、ファク

ス0229(47)42  
94。

記事中の「流しソーメン」は移動  
ワンコインカフェとして「ポップカ  
ーン」の活動

自分の手で育てたとれたて野菜の味は？

野菜はどう育つの？

森の探検では何が待っている？

ここでしか体験できない  
新しい発見が待っている!!

食  
SYOKU

×

農  
NO

をつなぐ  
居場所づくり

2018年度下期みやぎ生協福祉  
活動助成金を受けて活動します

～参加者募集～

**材料費** ひと家族 年間5,000円(税込)  
【種・苗代, 資材代,  
食育講座・さとやま交流会食材費】  
別途傷害保険 500円

**内容**

- ・農業体験 4回  
(じゃが芋・人参・大根・里芋など)
- ・収穫体験 3回 野菜お持ち帰り
- ・食育講座・調理 2回
- ・野外体験活動 3回
- ・さとやま交流会 3回
- ・まちなか交流会(OneコインCafe)別途

**対象** 宮城県内の小学生以下を含む親子

**限定** 10組様

**期間** 2019年4月27日(土)～  
11月30日(土) 年7回程度

**場所** 真山地区公民館  
(旧真山中学校)  
Synapse農園  
(真山ふるさと交流農園内)



募集期間

2019年4月5日(金)～  
4月26日(金)迄

申込QRコード  
申込URL

<https://forms.gle/xetSqgHu4yBkNq7q9>



特定非営利活動法人Synapse40

志誠塾: 989-6162大崎市古川駅前大通2丁目4-16ササキビルB号

TEL&Fax: 0229-47-4294

HP: <http://synapse40.wixsite.com/synapse40>  
Facebook: <https://www.facebook.com/synapse40>  
Email: [synapsemail40@gmail.com](mailto:synapsemail40@gmail.com)  
Blog: <http://blog.canpan.info/synapse40/>



種や苗を植える所からスタートし、収穫まで年間をとおして体験します。食育講座・調理などで食(SYOKU)と農(NO)のつながりや野外活動やさとやま交流会をとおして、世代や地域を超えた人とのつながりを感じる居場所を提案します。野菜の花や成長を観察日誌にして夏休みの宿題、ハロウィンカボチャの制作など季節に応じた活動もあり、親子で楽しめます。